

１ 社会・治安情勢

１１月には、ベネズエラ国内及び周辺地域における安全保障状況の悪化等を理由に、米国の航空当局から航空安全情報（NOTAM）が発出されました。これにより、外資系の航空会社が相次いで欠航・運航停止を表明し、フライト状況に混乱が生じました。その後、運航停止を表明した航空会社に対し、当局が運航ライセンスの取消しを決定しましたが、これを要因としたデモやストライキ等は発生せず、市内での混乱はありませんでした。ただし、緊張が高まっている状況ですので、信頼できる複数の情報源から最新の情報収集に努めるほか、警戒させるような行動（小型船舶の利用、ドローン所持、重要施設の撮影等）は厳に慎むようにして下さい。

２ 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（１）全般

当地治安当局によれば、２０２５年１０月～１２月の全国の犯罪発生件数は前年同期比で約１８％減少しました。全国的に殺人や強盗といった凶悪犯罪は大きく減少しましたが、自動車を狙った窃盗事件の増加が目立ちました。窃取された車両は、ひったくり等の別の犯罪に使われる可能性があります。また、詐欺事件の発生は約１２％増加しました。クリスマスや年末年始休暇で消費活動が活発化する時期に、こうした窃盗や詐欺事件が増加したものと考えられます。

（２）各論

同当局によれば、最近増加している詐欺事件の多くは、偽のホームページから個人情報や口座情報を抜き取るフィッシングサイトによる被害や、SNS上で極端に安い商品を掲載し、それを信じた被害者に架空の商品等を売りつける手口が増加しています。こうした商品の売買を発端としたトラブルにより強盗や殺人事件に発展するケースもあります。被害に遭わないためにSNSでの情報を鵜呑みにせず、被害に遭わないように注意してください。

（３）邦人等の被害事案

なし。

３ 薬物・銃器事件発生状況

報道等によれば、カリブ海に駐留している米軍により、麻薬密輸対策として複数の麻薬密輸船が爆撃されています。これらの攻撃により、カリブ海を経由する密輸ルートが使えなくなったことで、薬物密売組織は新たな密輸ルートを模索するものと予想されます。また、当地治安機関の取り締まりも強化されているとの報道もあります。こうした状況下で、犯罪組織は活動するために銃火器を使用する可能性が高く、万が一そうした取締りの現場に遭遇してしまった場合には、事件に巻き込まれないよう、速やかにその場を離れる等安全確保に努めて下さい。外出の際は、事前に外出先の治安情報を収集し、目的地までの経路や交通手段を十分に検討してください。

４ 誘拐・強盗事件発生状況

統計上、１０月から１２月の間に誘拐事件は発生しませんでした。強盗事件についてはカラカス首都圏の比較的安全とされている地域でも発生しており、犯行には複数人が関与し、脅迫の際に凶器や拳銃が使用されるケースもあります。発生時間帯も夜間や深夜だけでなく、昼間帯での発生もあります。外出の際は、目的地までの経路や交通手段を十分に検討し、安全といわれている地域でも周囲に対する警戒を怠らないようにしてください。